

脱法ハウス調査結果 - 西日本防災システム

2013 09 25

9月25日 防災業界の私共も大変気にかけておりますニュースです。居室が極端に狭く火災時に大変危険な**脱法ハウス**について調査を進めてきた、国土交通省から次のような発表がありました。建築基準法や関係条例に違反する物件が全国7都府県で計**191件**(8月30日時点)確認されたとのことです。さらに違反が疑われる**506件**については、調査中で、違反件数は大幅に増えることが確実のようです。地域も関東だけではなく、関西、沖縄など全国の主要都市部に広がっている実態が明らかになったようです。

違反物件191件のうち154件は**是正指導**に踏み切り、37件は**指導準備中**だそうです。居室に必要な窓がなかったり、間仕切り壁の耐火性が不足するなどしていたようです。都府県別では東京が**178件**と最多で、神奈川5件、大阪**3件**、埼玉2件と続き、茨城や千葉、沖縄(各1件)でも確認されたようです。弊社の近畿県内にもあったようです。

調査対象になったのは京都、兵庫、福岡を含めた10都府県の**730件**です。うち9件は「寄宿舍」の基準を満たし、24件はマンションなど他の用途で基準を満たしているか、閉鎖済みだったようです。京都と福岡の各1件は他用途と認定され、兵庫の1件は調査中とのことです。

国土交通省が今月”**シェアハウスは寄宿舍**”との通知を出したことで、一般住宅を再利用した物件なども違反となる可能性が高まっていますが、調査対象になった730件の中ほどの程度含まれるかは、まだ明らかにされていません。

今後の動きに注目してゆきたいと思います。



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ 